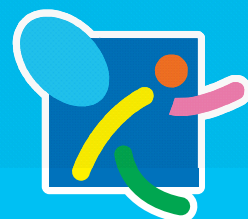
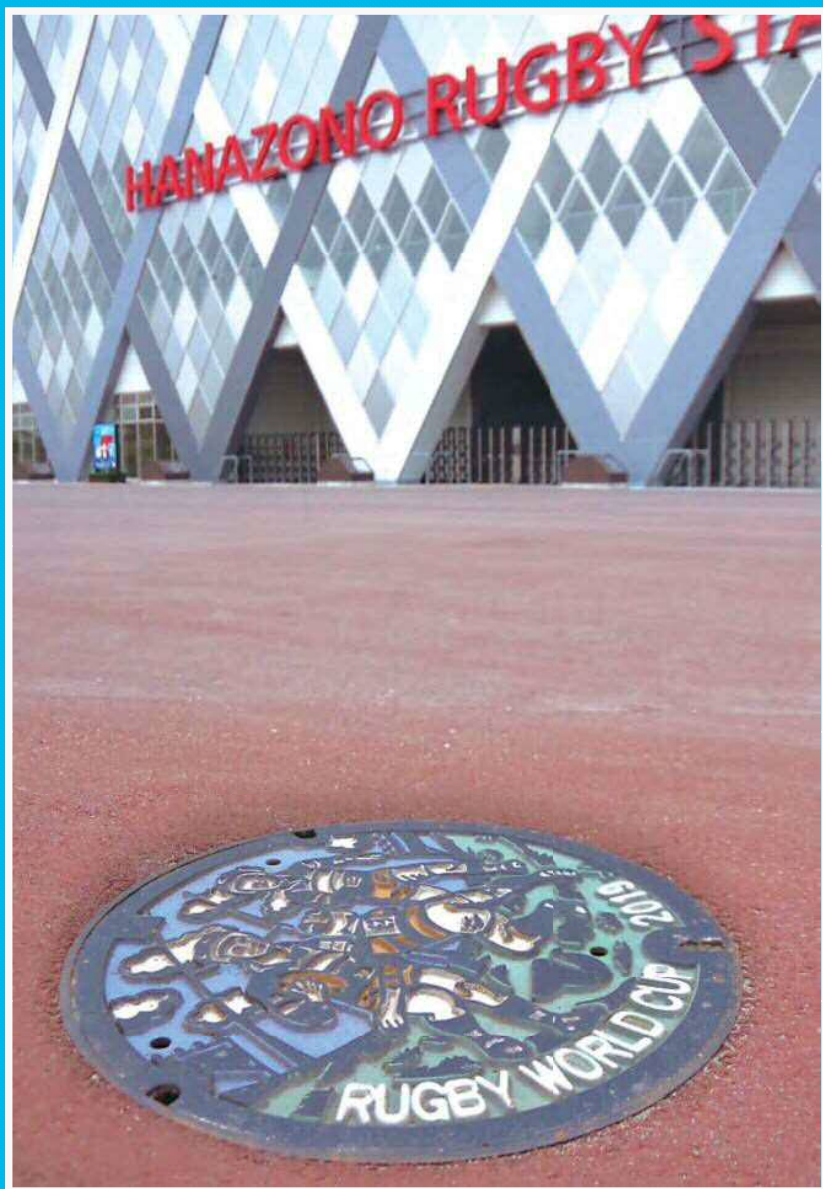


# 東大阪市の下水道

豊かな生活・豊かな自然

それはきれいな水から



東大阪市上下水道局

くらし件件快適下水道

# はじめに

東大阪市の公共下水道は、昭和24年より旧布施市において事業着手しました。

下水道人口普及率は99.9%となり、ほとんどの市民の方が下水道を利用できるようになりました。

近年では、気象変動により全国的に災害級の大雨の発生頻度が高まっていることから、さらなる浸水対策を進めています。また、施設の老朽化が進み、あわせて大規模地震の発生に備える必要があることから、改築更新や耐震化対策に取り組んでいます。

下水道事業は、その取り組みの中で、持続可能な開発目標「SDGs」<sup>\*1</sup>への貢献に努めています。

## ■下水道の役割

### ○生活環境を改善する

家庭や工場から出る汚水を、下水道管で集めて速やかに排除し処理することで、快適で衛生的な生活環境を提供します。

### ○浸水から街を守る

街に降った雨を速やかに排除、または貯留することで、みなさんの財産を浸水被害から守ります。

### ○公共用水域の水質を保全する

下水道管によって集められた汚水を、下水処理場で処理してから放流することで、河川や海など公共用水域の水質を保全します。



\*1 2015年9月に国連で採択された2030年までに持続可能でより良い世界を目指す17のゴールと169のターゲットからなる国際社会共通目標

# 東大阪市公共下水道の現況

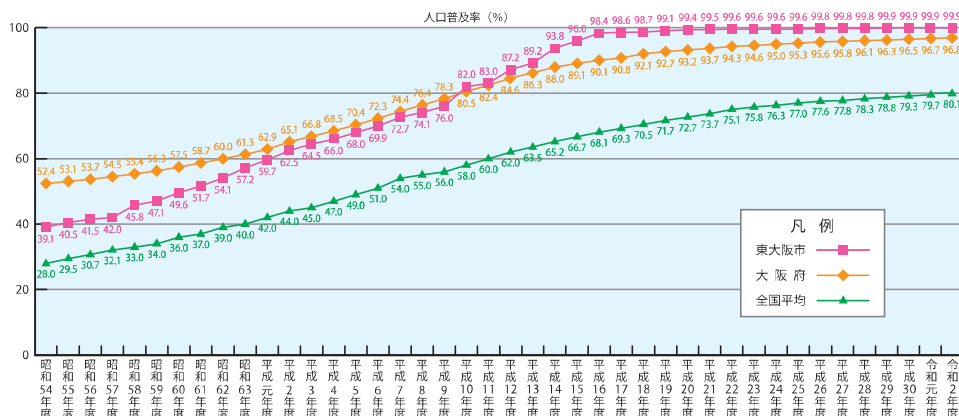
## ■概要

東大阪市の公共下水道は、市域面積6,178haのうち、山間部を除く5,159haの地域において下水道事業に取り組んでいます。

下水道計画区域のうち、地形的な要因からおおむね長瀬川以西の区域については、単独公共下水道（大阪市の下水処理場で共同処理）として、おおむね長瀬川以东の区域については、流域関連公共下水道（大阪府流域下水道で処理）として事業を行っています。

なお、東大阪市の下水道普及率の推移は下記のとおりとなっています。

## ■東大阪市の下水道普及率の推移(大阪府下、全国平均含む)(%)



### 下水道の普及状況 (令和3年3月末現在)

- ・行政区域面積 6,178ha
- ・市街地面積 4,950ha
- ・全体計画面積 5,159ha
- ・事業認可区域面積 5,159ha
- ・整備区域面積 5,088ha
- ・処理区域面積 4,935ha

# 浸水対策

## 概要

東大阪府域が属する「寝屋川流域」の約3/4は雨水が自然に河川に流れ込まない厳しい地形条件（「内水域」）となっており、これまでたびたび浸水被害が発生しています。また、近年は都市化が進んだことから、流域の保水・遊水機能（雨水がしみこむ機能）が低下し、浸水リスクが一段と高まっています。そこで、寝屋川流域では、国・府・流域関係市11市が、治水施設の整備や流域対策など河川・下水道・流域が一体となり、「総合的な治水対策」に取り組んでいます。

さらに、近年は気象変動が原因とされる大規模水害が全国的に多発し、その対策が急務となっています。全国の関係地域が、流域全体を捉え、あらゆる関係者（国・流域自治体・企業・住民等）が協働して対策に取り組む「流域治水」への転換が進められており、私たちが取り組む下水道においても「流域治水」に取り組んでいます。

## 計画内容

河川や下水道の整備を進めるとともに、流域における保水・遊水機能を取り戻します。

### ○治水施設による対策

- ・洪水を安全確実に流下させるため、河道の拡幅、堤防の嵩上げ、河床の掘り下げ等、河道改修を行う。
- ・河川の負担を軽減させるため、地下河川や分水路等、放流施設を整備する。
- ・洪水を貯留する遊水地、下水道が流しきれない雨水を貯留する流域調節池等、貯留施設を整備する。



▲流域調節池（八戸の里公園）



▲多目的遊水地（花園中央公園）・通常時



▲多目的遊水地（花園中央公園）・豪雨時

### ○流域における対策

- ・流域内の開発者等は、開発区域内等に雨水流出抑制施設（貯留浸透施設等）を設置する。
- ・学校、公園等の公共施設へ雨水流出抑制施設（貯留浸透施設等）を設置する。

東大阪市では、浸水被害が集中している地区の学校校庭及び周辺道路への雨水貯留浸透施設の整備を行い、被害の軽減を図っています。



▲長瀬南小学校 晴天時



▲長瀬南小学校 雨天時



▲校庭貯留イメージ図



## ■本市の取組み

### 増補管

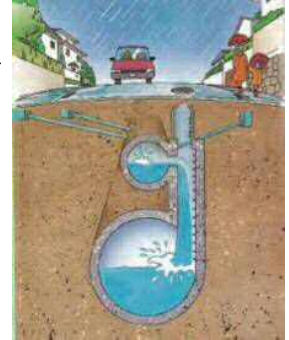
平成4年2月に『雨水レベルアップ計画』を策定し、増補管整備事業を行っています。対象降雨の確率年の見直しによる流出量の増加に対応するもので、既設下水道で流しきれない雨水を流すものです。下水道整備が早期に進んでいた第二寝屋川以西で順次整備を進めています。



▲シールドマシン



▲増補管



▲増補管イメージ図

### ○新岸田堂幹線

現在、岸田堂、大蓮地区において、浸水被害の軽減を目的とする新岸田堂幹線の整備を進めています。



▲立坑外観



▲立坑(上空写真)



▲増補管(整備中)

### 雨水貯留施設

大雨時に下水道や水路などへ雨水が一挙に流れ込むことにより生じる浸水被害の軽減を図る施設です。

#### 宝町雨水貯留施設

##### ■概要

治水安全度のレベルアップと汚濁負荷の軽減を目的として、10,000 $\text{m}^3$ (治水: 1,500 $\text{m}^3$ 、合流改善: 8,500 $\text{m}^3$ )の貯留施設を設置しています。



▲宝町雨水貯留施設



▲宝町雨水貯留施設イメージ図

#### 八戸の里雨水貯留施設

##### ■概要

昭和57年豪雨での約1万2千戸の浸水被害を受け、浸水地区の被害軽減を図るため、近鉄八戸ノ里駅前(駅前広場の地下)に貯留施設(8,000 $\text{m}^3$ )を設置しています。



▲八戸の里雨水貯留施設イメージ図



▲八戸の里雨水貯留池(地下式)





## 下水道の広報

下水道は、生活環境の改善や浸水の解消など、安全で快適な生活を支える必要不可欠なものでありながら、日常生活では目立たない存在です。下水道への関心を高め、理解を深めていただくために広報番組を制作するなど、下水道の「見える化」に取り組んでいます。

### 広報番組・YouTube

下水道について学べる特集番組や、浸水被害軽減のための啓発放送のほか、普段見ることが出来ない下水道施設を「東大阪市公式YouTube」内でご覧いただけます。



東大阪市広報番組 虹色ねっとわーく  
「浸水から市民を守る治水対策」



「東大阪市公式YouTube」  
G-Tube「マンホール開けてみた」

### マンホールカード

各自治体のマンホール蓋には、土地柄がわかるよう工夫を凝らした様々なデザインが施されています。下水道広報プラットフォーム(GKP)では、この様々なマンホール蓋から国民の皆様の下水道への関心の入り口となることや、蓋の先にある下水道の大切さをより深く理解していただくことを目的としてマンホールカードを全国の地方公共団体と一緒に発行しています。これまでに第1弾から第16弾までシリーズ化されており、シリーズ累計837種、607自治体(令和4年1月15日現在)のマンホールカードが配布されています。



東大阪市では、「ラグビーワールドカップ2019花園開催」と「ラグビーのまち東大阪」をPRするためリニューアルしたラグビーワールドカップ仕様のマンホール蓋でカードを発行しています。

「マンホールカード」は、下水道関連施設や観光案内所等で無料配布されています。各カードの詳しい配布場所は、GKPのホームページにてご確認ください。

詳細は  下水道広報プラットフォーム  
URL:<http://www.gk-p.jp/mhcard/>



東大阪市上下水道局下水道部

【お問い合わせ先】

東大阪市上下水道局下水道部

TEL 06-4309-3000 (代表)

令和4年3月印刷